

# 女性の活躍推進！ を考える



愛知県経営者協会  
会長 清水順三

愛知県  
副知事 吉本明子

キャリアデザインフォーラム  
代表理事 犬塚尚美

椋山女学園大学  
教授 吉田あけみ

連合愛知  
会長 土肥和則

多角的な視点から活発に行われたパネルディスカッション

## 連合愛知タウンミーティングVol.3を開催



ディベート風景

連合愛知は、9月6日(土)中区役所ホールにおいて、「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけてのタウンミーティングVol.3を開催した。3年目の開催となる今回は、構成組織、地域協議会、政策推進議員、後援団体、一般市民から約400名の参加があった。

今回はテーマを「女性の活躍推進!を考える」とし、働く女性をめぐる社会の課題や展望を話し合う公開討論を行い、労使双方や行政の代表、専門家が意見を交わし、性別を問わずワーク・ライフ・バランスの問題としてとらえる必要性が示された。

主催者を代表して連合愛知土肥会長のあいさつの後、第1部



女性の活躍をテーマとした寸劇

では椋山女学園大学吉田教授による「男性の育児休業を義務化すべきか否か」をテーマに連合愛知青年委員、女性委員と、椋山女学園学生によるディベートを開催した。肯定側(連合愛知)と否定側(大学生)とに分かれ議論を行い、会場の参加者による判定が行われた。

第2部でのパネル討論では、愛知県・吉本副知事、愛知県経営者協会・清水会長等をパネリストに迎え、「女性の活躍推進」をテーマにパネルディスカッションを行った。

パネル討論では、行政の取り組みの他、管理者や男女の意識の問題、キャリア教育のあり方、政府の成長戦略における女性活躍に対する考察など、多角的な討論がなされた。



会場の判定は?

# 連合愛知 2014 春季生活闘争のまとめ

## 連合愛知の取り組み

2014春季生活闘争は本部方針に基づき、地方連合会としての取り組みを行った。  
以下、連合本部のまとめを踏まえ連合愛知としての2014春季生活闘争まとめを示す。

### 1. 情報の共有化・共通認識の醸成と闘争の盛り上げ

#### (1) 闘争委員会の設置

連合愛知は、「2014春季生活闘争委員会」を1月開催の第4回拡大執行委員会において設置し、連合中央闘争委員会と連携した取り組みを推進してきた。なお、「2014春季生活闘争委員会」は、情勢を踏まえ開催した。

#### (2) 学習会等の開催

##### (共通認識の醸成)

##### ①「2014春季生活闘争・最低賃金合同学習会」の開催

連合闘争方針の学習と克服すべき課題や企業内最低賃金の協定拡大と水準の引き上げにむけて、共通認識の醸成を図るため、連合本部労働条件・中小対策局松本局長を招き「2014春季生活闘争・最低賃金合同学習会」を開催した。また、東海財務局経済調査課長山川潤一氏より、最新の経済情勢について講演を受けた。

○日 時 2013年12月20日(金)  
14:30～17:00

○場 所 れある6階大会議室

○参加者 構成組織・地協  
計84名



最低賃金合同学習会



春闘1万人総決起集会

##### ②2014春季生活闘争交渉情勢報告会の開催

3月7日の第2回闘争委員会の中で「交渉状況交流会」を開催し、副会長産別を中心とする構成組織の取り組み等について情報交換等を行い情勢についての共通認識を深めた。

○日 時 2014年3月7日(金)

\*第6回執行委員会終了後

○場 所 れある6階大会議室

における闘争の盛り上げを図るため、3月に「2014春季生活闘争官公部門決起集会」を開催した。

○日 時 2014年3月13日(木)  
18:30～19:30

○場 所 名古屋市教育センター

#### (4) 調査・広報活動の取り組み

①春季生活闘争期の回答・妥結状況について、より実態に即した有効なデータを調査広報組合350組合より収集することとした。

②調査広報350組合から収集した賃上げ・一時金、その他の要求内容と回答・妥結結果を調査し、フィードバックすることにより、全体の底上げに資するよう努めた。

③広報紙による情報の共有化を図るとともに、FAXにて速報を発信し交渉の促進を図るとともに、連合愛知HP等を活用したタイムリーな情報発信に努めた。

#### (3) 決起集会の開催

##### ①2014春季生活闘争1万人総決起集会の開催

2014春季生活闘争における要求実現と闘争の盛り上げを図るため、3月に「2014春季生活闘争1万人総決起集会」を開催した。

○日 時 2014年3月2日(日)  
10:30～12:00

○場 所 白川公園

②2014春季生活闘争官公部門決起集会の開催  
民間と一体となって官公部門

### 2. 中小・未組織労働者等の支援

#### (1) 中小共闘センターの設置

中小・雇用労働委員会の下に「中小共闘センター」を設置し、交渉情報の共有化を図るとともに、闘争の盛り上げ支援を行った。

◆中小共闘センターニュースの定期発行

#### (2) 中小・地場共闘強化の具体的進め方

##### ①中小共闘の取り組み

構成組織は、中小組合の賃金の底上げ・格差是正に向けて交渉の支援体制を整備する。同時に、中小組合の多くが地方に所在す

ることを踏まえ地方連合会が設置する「共闘連絡会議」に積極的に参加し、地域における相場形成と波及に努めた。

### (3) 学習会等の開催

中小労組学習会や中小労組情勢報告交流会を通じて、交渉環境の醸成と解決促進を支援してきた。また、中小労組学習会の開催に合わせ、個別賃金分析プログラムの仕組みと活用事例報告を行い、中小労組の取り組みを支援する立場から構成組織との連携を十分に図りながら積極的にサポートを行った。



中小労組情勢報告交流会

#### 連合愛知2014年ミニマム目標値

年齢	18歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳
目標値	156,000	165,000	186,000	203,000	221,000	241,000	260,000

単位:円

- ①中小労組学習会の開催
  - 日 時 2014年2月1日(土) 13:30~16:00
  - 場 所 れある6階大会議室
- ②中小労組情勢報告交流会の開催
  - 日 時 2014年4月5日(土) 13:30~15:30
  - 場 所 れある6階大会議室

### (4) 地域ミニマム運動の推進

「東海ブロック個別賃金分析プログラム」を活用した地域ミニマム運動の推進を図るとともに、個別賃金実態を基にした「連合愛知ミニマム目標値」を設定し、個

別賃金の絶対水準の引き上げに取り組んだ。また、地域において、そのデータと取り組みを背景に地場中小を中心とした賃金相場への影響力を強めるとともに、

中小労組自身が賃金・労働条件の取り組みを力強くリードしていくため、個別賃金分析プログラムの学習会を開催し、よりきめ細かな理解活動を行った。

- ①連合愛知2014年ミニマム目標値の設定
  - 各構成組織より集約した44,631名分(最終集約数の個別賃金データ)を基に、2014年ミニマム目標値として設定。なお、算出基礎値として第1十分位数の賃金カーブに基づく各年齢ポイントのミニマム目標値とした。

### (5) すべての労働者の処遇改善の取り組み

地域別最低賃金を引き上げることが、すべての労働者の処遇改善を図ることに繋がるため、春闘期での賃金の引き上げが未組組織労働者の処遇改善に努めた。その結果、目安額(19円)+1円を引き上げることができ、800円とすることができた。

## 3. ワークルール、働き方に関する取り組み

### (1) 労働関係法令遵守の徹底

正規労働者はもとより、パート・有期契約・派遣・請負労働者などについて、労働者派遣法への的確な対応をはじめ、労働契約法、パートタイム労働法をはじめとする労働関係法令の趣旨を踏まえた遵守を徹底した。

◆「労働者保護ルールの改悪を許さない学習会」

- 日 時 2014年4月17日(月) 15:00~17:30
- 場 所 アビタン2階大ホール

### (2) 労働者保護ルール改悪阻止の取り組み

労働分野の規制緩和に反対する全国統一行動について、連合

本部の「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」キャンペーンの取り組みに呼应し、働く者全体の暮らしの底上げをはかるべく、地方連合会の役割として取り組みを展開した。

### (3) 職場における男女平等の推進

少子高齢化による労働力人口の減少が進む中で、女性の活躍推進とともに、女性が多様な能力を発揮できる社会を作っていくため、男女雇用機会均等法の趣旨を踏まえ定着・点検を行うとともに、積極的なポジティブ・アクションにより男女間格差の是正・改善に取り組んできた。

◆職場における男女平等の推進と両立支援の促進にむけた学習会の開催

- 日 時 2014年2月20日(木) 14:30~16:20
- 場 所 れある3階会議室2
- 対象者 男女平等参画推進委員・女性委員



労働者保護ルールの改悪を許さない学習会



## 4. 政策制度に関する取り組み

連合の「2014春季生活闘争政策・制度の取り組み」と「賃金・労働条件改善の取り組み」を2014春季生活闘争における「運動の両輪」として、すべての労働者を対象とした生活改善・格差是正に向けた取り組みを行ってきた。また、「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」を進めるため、労働分野の規制緩和阻止を目指して一体的な取り組みを行った。

### (1) 2014確定申告学習会の実施

確定申告を通じて組合員の納税者意識を高めるとともに、役員のスキルアップを目的に、確定申告実務学習会を開催した。

○日 時 2014年12月19日(木)  
13:30~17:00

○場 所 れある6階大会議室

○参加者 構成組織・加盟組合  
役員、地協事務局長  
計43名

### (2) 2014春季生活闘争と連動した「あんしんUPキャンペーン2014」の展開

2014春季生活闘争を地域から盛り上げるとともに、連合および連合愛知が進める政策・制度要求について組合員への周知と理解を図り、安全・安心で活力ある愛知の創造の実現をめざすことを目的に政策キャンペーンを展開してきた。【2014年2月~3月】

## 5. 行政・経営者団体等への要請行動

中央の行動に合わせて、地方連合会としても行政や経営者団

体などに要請行動を実施した。特に、経営者団体に対しては、中小

未組織、パートタイム・契約・派遣労働者等を意識して要請を行った。

## 6. 通年的な取り組み

### (1) 組織拡大の取り組み

労働条件の改善を地方や中小企業、非正規労働者など未組織の労働者に広げていくためには、組織化は不可欠であり、組織内外へ集団的労使関係構築の必要性を訴えていく必要がある。

そのため、2014春季生活闘争の諸活動を通じて、企業内で働く有期契約労働者、60歳超え再雇用者、パート・アルバイトなど未組織労働者の組織化や組合のない子会社・関連会社での組合結成、未加盟組合に対する加盟の呼びかけを行うなど、組織拡大を進め

てきた。

また、グループ内派遣会社などの組織化も着実に推進を行った。

1) 春の全国一斉労働相談ダイヤルの実施

○期 間 2014年2月6日(木)  
~8日(土)3日間

○テーマ 「解雇・雇い止めトラブルなんでも労働相談ダイヤル」

○相談件数 3日間で延べ  
136件の労働相談に対応した。

労働災害のリスクを低減し、快適な職場づくりを推進するとともに、長時間・過重労働対策、メンタルヘルス対策、パワーハラスメント対策なども含め、労働安全衛生法などの法令遵守と安全配慮義務の履行に向けた取り組みを進めた。

職場におけるメンタルヘルス対策・受動喫煙防止対策を事業者の義務とする労働安全衛生法改正法案の内容を踏まえ、法案成立に先行して企業内の対応状況を確認し改善に向けた取り組みを進めた。

### (2) 安全衛生の取り組み

## 7. 要求・回答・妥結

### (1) 要求提出

連合愛知調査広報組合350組合中261組合が要求書を提出した。

その内2月月内要求組合数は216組合、3月以降要求組合数は45組合と例年より早い段階での要求となった。

### (2) 回答状況

連合方針に基づき先行・中核

組合が賃金水準(賃金カーブ)維持と賃上げ(ベア相当分)獲得にこだわり、第1先行組合の回答ゾーン・統一回答日(3月10日~14日、最大のヤマ場:3月12日)に99組合が回答を引き出した。これに続き中小労組も回答を引き出し、3月月内決着した組合は184組合となった。

また、連合愛知も本部確認事項である「中小回答促進期間4

月1日~22日」を設定し、中小労組は精力的に交渉を行った結果、44組合が賃金水準維持の回答を引き出した。さらに一部の労組においては改善分を上積みすることが出来た。

### (3) 妥結状況

#### <賃金>

連合愛知調査広報350組合の内、人事院勧告組合及び準拠

組合を除く326組合による集約回答・妥結結果として、253組合から金額または率による集約回答・妥結報告があった。

7月4日現在の回答・妥結報告があった組合数は、253組合中集計が可能な227組合で全体の状況は加重平均で7,715円2.42%となった。1000人以上では63組合で8,213円2.53%、300人以上999人以下では57組合5,254円1.95%、100人以上299人以下は59組合5,142円1.99%、100人未満は48組合で4,153円1.56%となった。全体で2%を超える加重平均率は2000年以降14年ぶりであった。

あわせて、賃上げ(ベア相当分)回答があった組合数は、174組合で内集計が可能な組合数は300人以上で120組合中83組合、

300人未満は107組合中74組合となり、デフレ脱却に向けた一歩を踏み出すことができた。



RENGO AICHI

ZENROSAI NEWS



支えあうことの安心を、広げたい。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら  
**全労済**  
全国労働者共済生活協同組合連合会

また、昨年有額回答があった組合の同時期と比較すると、加重平均(全体)では、1,750円の

増となり、300人以上で1,777円増の0.29%増、300人未満は762円増の0.23%増であった。

連合愛知調査広報組合(350組合)賃上げ回答妥結状況

集計結果

※回答組合数にはゼロ妥結も含む。 ※( )内は昨年との比較

項目	2014年7月4日現在
回答・妥結組合数 ※	253組合
額・率 <加重平均> (昨年同時期比)	7,715円 2.42% (+2,028円 +0.52%)
賃上げ組合数(有額組織数)	174(157)組織
賃上げ額	1,757円
春闘を取り組まない労組数	5組合
人事院勧告組合及び準拠組合	24組合
交渉中・未回答組合	68組合

規模別集計結果

2014年7月4日現在 回答・妥結組合			
規模別	組織数	金額(円)	率(%)
~100人未満	48	4,153	1.56
100~299	59	5,142	1.99
300~999	57	5,254	1.95
1000人以上	63	8,213	2.53
計	227	7,715	2.42

<一時金>

一時金においては、178組合が回答を引き出しており、業績が反映された結果となった組合が多く存在した。

なお、加重平均で年間一時金は1,429,554円5.37ヵ月(昨年比272,632円増、1.20ヵ月増)となった。

連合愛知調査広報組合 一時金回答妥結状況

集計結果

2014年7月4日現在 回答・妥結組合				
項目		7月4日現在	5月16日現在	3月末現在
回答組合数		178組織	173組織	59組織
年間 149組合	月数<加重平均> (昨年組合同時期比)	5.37ヵ月 (+1.20ヵ月)	5.04ヵ月 ( - )	5.38ヵ月 (+1.22ヵ月)
	金額<加重平均> (昨年組合同時期比)	1,429,554円 (+272,632円)	1,453,848円 ( - )	1,346,178円 (+189,256円)
夏季 29組合	月数	2.31ヵ月	2.53ヵ月	-
	金額	593,350円	635,621円	-

ピークカット  
アクション21

節電のススメ 夏のヒント

待機電力を減らそう!

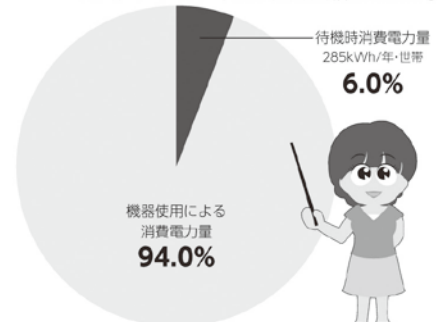
待機電力とは、電源の切れている状態(待機時)でも、コンセントに接続されていることによって、消費される電力のことです。

なんと、家庭における年間電力消費量の約6%を、この待機電力が占めています。

つかわない機器のコンセントを抜いたり、スイッチ付きテーブルタップを活用することで、無理なく節電ができます。

家庭の消費電力量 4,734kWh/年・世帯

出典:省エネルギーセンター「平成20年度待機時消費電力調査報告書」



http://www.rengo.org/ 2014 連合エコライフ21

## 次代を担うリーダーの育成に向けて

ユニオントレーニング アドバンスコース 修了式



修了生みなさん、お疲れ様でした。

連合愛知は、4月に開講し5ヶ月にわたって、ユニオントレーニング アドバンスコースを開催し、8月23日に受講生23名の修了式を行った。

このアドバンスコースは、連合愛知の人材育成の取り組みとして、中小企業労働組合役員を対象とし、「労

働組合の現状」「コミュニケーション」「財務諸表の知識・決算書の見方」「ライフプラン」「ユニオンファシリテーション」などの実務教育を行うことを目的として開講した。

最終日となるこの日、もとJR連合事務局長からホテルアソシア名古屋ターミナルの総支配人を経て、現在はアソシア志友館代表の柴田秋雄氏、インサイダー編集長の高野孟氏を迎え、それぞれオープン講座を開催した。

その後受講生23名による「わたしのアドバンス宣言」を行い、①本コースを通じて学び・得たこと、②今後の活動にどう活かしていくか、を受講生一人ずつ発表した。

修了式では、土肥会長より受講者一人ひとりに修了証を手渡され、受講者へのねぎらいと、今後の組合活動への期待の言葉がかけられ、それぞれがリーダーとして頑張っていく意識付けとなった。

## 若い世代への意識共有を

青年委員会・女性委員会合同学習会を開催

連合愛知は8月29日～30日、れあろ・つどいの丘において「青年委員会・女性委員会合同学習会」を開催し、土肥会長をはじめ各構成組織の青年委員・女性委員など約20名が参加した。

はじめに土肥会長との対話会を行い、各委員からは青年活動の状況についての発言や、若者の組合離れや政治離れ、日頃の組合活動における悩みなどについて率直な意見が交わされ、会長からもアドバイスをいただくなど、和やかな雰囲気の中で行われた。

午後からは、重度障がい者・知的障がい者などの雇用促進を目的として設置された、「中電ウイング株式会社」を訪問、雇用の現状や課題などについて説明を受けるほか、実際に働く現場の見学を行った。

翌日の研修会では「イベント企画発想法」について



みんなでハイ、ポーズ!

学び、青年委員は9月27日に行う2014ユース・フォーラムでの企画、女性委員会は来年度開催を予定する女性役員向けイベントを題材にそれぞれが企画を立て、発表を行った。

本研修会を通して、次代を担っていく青年の活動に必要なコミュニケーションツールとして、新たな時代にマッチした新たな「つながり」の発想を学ぶとともに、青年・女性の立場での労働組合の現状や課題などについて意識を共有し、理解を深めることができた。

## ワークルール検定が 名古屋で開催されます

日時:2014年11月23日(日) 9:30～11:35

会場:国際センター ホール

名古屋市中村区那古野一丁目47番1号

※詳細はワークルール検定公式ウェブサイトにて

<http://workrule-kentei.jp/>

## 連合愛知 助け合い運動

期間 10月1日～12月19日

組合員の大切なお金を  
各種福祉事業に幅広く役立てていくために  
みなさんの積極的な協力をお願いします!



## 「働く」ことへの意識を再確認

### インターンシップ研修を実施

連合愛知は、8月18日～29日の10日間にわたって大学生2名を受け入れた。

連合愛知の果たすべき役割や活動内容への理解を深めるため、土肥会長や三島事務局長との懇談の場の設定や、各局からの活動説明を行った。

また、三河東地域協議会、労働相談センターや安全衛生センター、愛知労福協などでの研修や、大塚耕平参議院議員との対話会、情報労連・NTT労組、JAM・



日本車両への訪問

テーマ発表



日本車両豊川製作所の訪問、青年委員会・女性委員会合同の学習会にも参加した。最終日には、研修報告会として、研修生が設定したテーマについて発表した。

インターンシップ研修生は、さまざまな活動を通して、労働組合についての認識を深めるとともに、「働く」ことへの意識を再確認することができたようである。この場をお借りして、研修にご支援・ご協力をいただいた多くの皆さんに感謝します。

## 第11回(拡大)執行委員会

2014年8月26日

### 確認事項

- 1.当面の日程について
- 2.2015年度連合愛知年間大日程(案)について
- 3.2015年度の地協交付金(案)について
- 4.構成組織の組織拡大について
- 5.地協オルグ車(名古屋地協)の増車について
- 6.2015地域ミニマム運動「個別賃金実態調査」の取り組みについて
- 7.2014年度教育改革運動への協力について
  - (1)「愛知の教育をよくするための県民陳情署名」(団体署名)への協力
  - (2)第64次教育研究愛知県集会への参加  
日 時:2014年10月18日(土)9:30~11:25  
場 所:愛知県産業労働センター  
(ウインクあいち)
- 8.2014連合愛知助け合い運動について
- 9.連合愛知助け合い運動「共同募金会配分施設」の視察について
- 10.「北方領土返還要求運動」の標語募集の協力について
- 11.「北方領土の日」ポスターコンテスト作品募集

### の協力について

- 12.核兵器廃絶に向けた「核兵器保有国の駐日外国公館」への要請行動について
- 13.「核兵器廃絶1000万署名」への協力と具体的な取り組み要請について
- 14.第27回愛知県勤労者スポーツ大会への対応について

### 議 事

- 1.各種審議会・委員会等への派遣について
- 2.2015年度活動方針(案)
- 3.連合愛知第26回定期大会の開催について(公示)  
日 時:2014年10月28日(火)13:00~  
場 所:日本特殊陶業市民会館  
ピレッジホール(中ホール)
- 4.連合愛知第26回定期大会の代議員選出について
- 5.2015年度暫定予算について
- 6.連合愛知諸規則および地協規則の一部改定(案)について
- 7.第7次組織拡大中期計画(案)意見集約とスケジュールについて
- 8.2015年統一地方選挙に伴う候補者推薦(第6次)について

あなたの職場で働くすべての人と家族の  
こころの相談室

# 心の相談室

電話相談

専用電話

052(618)7831 な や み いちばん

月/15:00~19:00 水/12:00~19:00 金/16:00~20:00  
※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。

面接相談

場所/ (社)日本産業カウンセラー協会中部支部  
※事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

地 協 紹 介

## 三河中地協

# 三河中の行事紹介

## 議 会 報 告 会

三 河中地協では地協政策推進  
 二 議員による「議会報告会」を  
 岡崎地区・西尾地区の各地区連絡協  
 議会で国・県・市・町それぞれの各級  
 議員を招いて、概ね6月定例議会後  
 を目途に開催しています。「議員と  
 の・・・」となると、得てして議員から  
 の報告一辺倒になりがちですが、議  
 会の報告自体よりも「自身の仕事」



の距離感を無くし、  
 お互いを認識し  
 あえるよう、これ  
 まで通り「中規  
 模」の開催を堅  
 持し企画してい  
 きたいと考えて  
 おります。



の紹介を軸にしたディスカ  
 ッション的な集会を目指し  
 ております。すでに定例行  
 事として定着している行事  
 ですが、少しでも多くの構  
 成組織の皆さんにご参加頂  
 き、また議員と組合員双方



## 国 政 研 修 会



を行いました。残念ながら  
 当日は議事堂での本会議は  
 開催されておりませんで  
 したが、拉致問題特別委員  
 会を傍聴することができ、限  
 られた時間ではありましたが、  
 有意義な研修になったと思



**当** 地協では年二回の役員研修  
 会を実施しており、講師を招  
 いた机上研修会と、視察等に主眼  
 を置いた持ち出し研修会を三役・幹事  
 を中心に開催しております。例年の  
 持ち出し研修は電力関係の事業所を  
 中心に実施してきましたが、本年は  
 趣向を変え6月17日に会期末も近  
 くなった国会をとのことで国政研修会



います。また会期  
 末のお忙しい中、  
 原口一博氏の講  
 演の他、連合愛知  
 推薦の国会議員  
 の皆さんより近  
 況報告を頂き、本  
 当にお世話にな  
 りました。紙面を  
 お借りし御礼申し  
 上げます。